

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [教育活動](#) | [賃金の性格](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)

### 賃金の性格

賃金とは何か。

この答えは、簡単なようで容易ではない。

(1) 労働者にとっては、所得であり生活を支える日々の糧である。

(2) 使用者にとっては支出であり、事業遂行のためのコストである。

(3) 労働力の対価と言えるが、賃金のすべてがそうであるとは言い切れない。例えば、通勤手当や家族手当のような賃金項目は、労働力の対価とはいえない。

このように賃金は3つの見方（三面性）を持っています。

賃金を考える際に重要なことは、この賃金の三面性をどのように考慮して、賃金が成り立っているかを知ることです。

往々にして労働者は生活するには賃金が低すぎる、使用者は成果がないので多くは払えないと主張します。

労働によって生み出した価値以上のものを報酬として獲得することは、他人の労働の成果に依存していることに繋がります。

また、労働者が生活できない程度の賃金しか支払えない使用者のところには、労働者は集まらず廃業することとなるでしょう。

ということはすなわち賃金決定にあたって留意すべきは、労使ふたつの側面を満足させるということにあることが分かります。

(参考：連合総研「日本の賃金」)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[▶ キーワード検索はこちら](#)[>>一覧へ戻る](#)

